

## 会員紹介

このコーナーは会員の皆様をご紹介するコーナーです。  
今回は地域に根ざして様々な活動を行っている2団体をご紹介します。



### 牧野元気創生会（会長の志村孝夫さん、副会長・事務局長の名久井孝昭さんに聞きました）

#### —結成の経緯を教えてください。

藤野やまなみ温泉を地域で運営していくようになったことがきっかけです。温泉近くにゲートボール場がありますが、その周辺一帯を整備して公園にし、温泉を訪れる方々に楽しんでもらえたら、ということから会を発足しました。平成22年のことです。現在会員は18名、他に法政大学の学生ボランティア、芝桜に詳しい方にも協力してもらっています。会の名称はとにかく「元気に」楽しくやろうという思いに由来します。

#### —活動内容は？

毎年3月から11月まで、月2回やまなみ公園と名づけた公園、そしてホタルが見られる小川の整備をしています。他に不定期ですが峰山登山道の整備をしたり、藤野南小学校の美化運動にも協力しています。公園にはおかめ桜、アナベルという種類のアジサイ、芝桜を中心にレンギョウ、サツキ、ツツジなどが植えられています。

#### —どんなことにやりがいを感じていますか？

いろいろな花がきれいに咲いた時は達成感を感じます。また、会員は会社勤めなどをリタイアした人が中心ですが、会員同士のコミュニティもありがたいことだと思っています。毎回の作業の後には温泉に入り、食事会をするのですが、これも皆さん大変楽しみにしています。



#### —困ったことはありましたか？

発足当初ですね。最初は会員も少なく、かつゲートボール場以外は篠竹などものすごいヤブ状態で、作業は大変でした。

#### —会が地域に及ぼしている意義はなんでしょうか？

自治会とは違ったコミュニティがつくられているということでしょうか。会員は会社勤めなどをしている間は自治会の活動に思うようには参加できていなかった人たちです。そういう方たちに自治会とは違ったコミュニティの場がつくられたということです。それが会員の生きがいにもつながっています。

#### —これを読んでいる皆さんに一言お願いします。

温泉と公園を楽しみに、ぜひ来ていただきたいです。3月末のおかめ桜、3月から4月にかけての芝桜、6月のアナベルは特に美しいです。花をめでながら公園を散策し、ひと汗かいたところで温泉に入る、これはお薦めです。



## なぐら談会（会長の野崎勝也さんに聞きました）

#### —結成の経緯を教えてください。

昭和23年生まれの仲間が還暦を迎えた時、団塊の世代で何か集まりを作つて懇親を深めようではないかということになりました。何人かで相談し、会員を「昭和22年～24年生まれの名倉地区在住または名倉地区出身の人」に限定して呼びかけることにしました。2009年のことです。会の名称は「団塊の会」ではそのものすばりで面白くなく、一ひねりして漢字も変えて名付けました。



#### —活動内容は？

当初は懇親会ができればいいのかと思っていたが、そのうちただ飲んでいるだけでは能がない、何かやろうじゃないかということになりました。最初に手掛けたのは藤野園芸ランド遊歩道の整備です。遊歩道整備のほか、道標及び案内板の設置、マップの作成などを行いました。さらに市からの委託を受けて、定期的に遊歩道、芸術の道の作品周辺、大刀駐車場などの草刈り、弁天橋近くの「なぐら湖畔の森」の整備も行いました。「森」は現在、子どもたちの格好の遊び場になっています。

ほかに総会のたびに勉強会を開催したり、「シネマなぐら」という映画会、「なぐら寄席」という落語会、「なぐら文庫」（自由に本を持ってきて持つて行けるミニ本棚）等も運営しましたが、コロナ禍で頓挫している状態です。

#### —どんなことにやりがいを感じていますか？

やはり、みんなで集まれることでしょうか。作業を終えて一緒に飲める時が一番です。会員の中にはすでに亡くなった人もいますが、とにかく元気にやってこれたこと、集まって何かができることがやりがいですね。



#### —地域に及ぼす影響についてはどんな風に考えていますか？

いろいろな作業をこなしていくために協力者を募って、より多くの人たちでやるようになります。正会員は15名、協力者も同数ほどいます。また、素人ではできないような作業には工務店や鉄工所、個人で高度なスキルがある人に応援してもらうこともあります。地域活性化に多少なりとも貢献しているかと思います。

#### —困ったことはありますか？

会員は間違いなくみな年を取つていて、体力的にも精神的にも限界を感じてくる、これが問題と言えば問題です。いろいろな作業の請負も見直して、会の運営も変えていかざるを得ないとも思っています。

#### —これを読んでいる皆さんに一言お願いします。

特に若い人たちが地域で何かできないか、何かやっていこうということを意識して、具体的に何らかの活動をやっていってほしいと思います。自分たちが年を取つていくにつれて、若い人たちへの期待は高まっています。